

平成 27 年度 3 回各部会での主な意見

にぎわい・きずな部会（10月22日開催）

- ・工場見学のビデオはすばらしいプロモーションだと思う。
- ・商店街はシャッターが多い。みんなで具体的に考えて、商店街がにぎわったらすごいものになる。具体的な取り組み事例の資料があればヒントになる。
- ・防災では、古い老朽化した空き家目立つ。何とかならないか。
- ・モノづくりの動画はモノづくりだけでなく、商売のほうも東成の魅力として広げていってはどうか。
- ・防犯の観点から、防犯カメラで監視すると抑止力になると思う。設置場所は、商店街や駅前など人が多く集まる場所や公園など子どもたちが遊ぶところに重点的に設置してあげると安心して遊ぶことができる。
- ・玉手箱はいろいろな主体が催しをやっていて非常に良い。続けて欲しい。
- ・活気のある東成区のためには観光施策が必要。それにより人が訪れ、商店街が充実し、まちが活気を取り戻す。各地域には特徴があり、その地域性に応じたまちづくりを考えていき、そこから一つになった東成区をつくり上げたらどうか。11地域を一遍に良くするのは大変。1地域を半年で、11地域を5年6カ月かけて、一つ一つ良くしていってたら大きな東成区ができる。区役所からの提案のまち歩きは非常に良い話。まち歩きしながら、ここのまちはこんなふうにしたら良いと考えてはどうか。

子ども・教育部会（10月30日開催）

- ・プロジェクターでの映像は、文面よりわかりやすいので、本会議でも使って欲しい。
- ・学校給食は導入時に問題になったが、改善されおいしくなると子どもたちから聞く。あったかいものが出され、器が改善され、いい方向に向かっている。
- ・今年から学校の図書館補助員が入った。東成図書館の館長など図書館全体でフォローしてくれる。
- ・広報紙特集号の学校一覧表は大変参考になる。毎年作って欲しい。
- ・区長が兼務する教育次長には人事権や予算があるか？
- ・学校選択制は知り合いの子がクラブの関係で希望の学校へ行くことができ、個人的には非常に良い制度だと思う。

保健福祉部会（11月4日開催）

- ・おまもりネットの案内ポスティングについて、地域でイベントをする前に家庭訪問をするので、地域の行事と連携すればより効果が高まる。
- ・近隣で人間の情というのが薄くなってきたように感じる。地域で色々な企画をたてても人が集まらない。家族構成もわかりにくくなった。
- ・独り暮らしの高齢者が増えている。普段のつながりが弱くなっていて、支援者やそれを応援してくれる人の数も減っている。孤独死等の課題を解決していくには何か元気なものをつくらないと防ぎようがない。もう少し地域ぐるみの取り組みにしていけないといけない。
- ・周りのことに無関心になっている人が多い。区を挙げてつながりの大切さをアピールできないか。
- ・「おまもりネットは非常に大事なこと」という意見があったが、その大事なところは何なのかをみんなに知ってもらう必要がある。
- ・東成区はマンションが比較的少なく、人のつながりを保ちやすいことが区の特徴。行政もその特徴を何とかしようという方向で進めてもらいたい。運営方針に「地域において支え合いが充実して、区民が住み慣れた地域で安心して生活できる状態。」をめざすとあるが、今日の議論は全てそこにつながる。